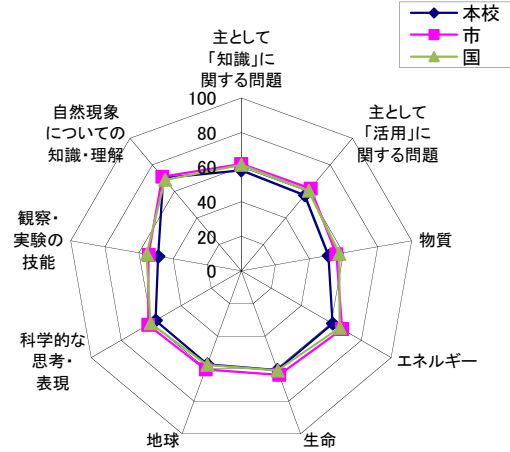


宇都宮市立清原東小学校 第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	58.2	61.9	61.3
	主として「活用」に関する問題	57.1	62.2	60.5
区分等	物質	51.1	55.7	57.4
	エネルギー	60.9	67.2	65.6
	生命	60.9	63.8	61.2
	地球	57.4	60.5	57.8
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	57.1	62.2	60.5
	観察・実験の技能	48.8	54.4	55.5
	自然現象についての知識・理解	70.1	71.1	68.6



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」や「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えていますか」の質問では肯定的な回答をしている児童が、全国平均を上回っている。
●「理科の授業は好きですか」や「理科の授業は大切だと思いますか」「観察や実験を行うことは好きですか」などの質問では、肯定的に回答している児童の割合が、全国や市の平均を下回っている。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質	○水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ設問や、水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ設問では全国平均を上回った。 ●振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを記述する設問では、全国平均を下回った。また、示された器具（メスシリンダー）の名称やメスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ設問では、全国平均を大きく下回った。	・自然や日常生活で見られる事物・現象を実験場面に置き換えて考えられるようにする。 ・器具の名称を正しく理解させるために、器具の名称とともに器具の操作手順、操作の意味をとらえることができるような掲示物等を活用して理解を図っていく。
エネルギー	○電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ設問では、全国平均を上回っている。 ●振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ設問では、11.2ポイント、電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ設問では7.7ポイント、全国平均を下回っている。	・実験結果を基により妥当な考えに改善するために、実験後に観察・実験の結果をもとに、自分の考えをノートに記述させ、その後グループや学級全体で結果や考察について話し合う活動を設定する。
生命	○メダカのおすとめすを見分けるために観察する部分を選ぶ設問や、生物の成長に必要な養分の取り方について、仲間わけした観点を学ぶ設問では、全国平均を上回っている。また、顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ設問や植物の成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを記述する設問でも全国平均を上回っている。 ●生物の成長に必要な養分の取り方について調べた結果を視点をもって考察して分析する設問や顕微鏡の名称を聞く設問では全国平均を下回っている。	・学習活動や日常生活など様々な機会を通して顕微鏡を使って観察することができるように、安全面を配慮した上で、教室や理科室等で顕微鏡で自由に観察できる場を設け、顕微鏡を使って観察する機会を増やしていく。
地球	○地球の区分では、全国・市の平均正答率とほぼ同じである。 ○星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ設問では、全国平均正答率を上回っている。 ●方位についての情報から、観察している方位を選ぶ設問や観察した星座や雲の動きを選ぶ設問、地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ設問では、全国平均をやや下回っている。	・星座の動きと時間の経過との関係をとらえる力を高めるために、日中の月の時間ごとに見える方位や高さ、見える形を観察し、月の動きと時間の経過を関係づけて考えることができるようにする。